

令和2年度救急医療功労者・産科医療功労者厚生労働大臣表彰 厚生労働大臣祝辞

「令和2年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰」及び「令和2年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰」において、栄えある表彰を受けられました皆様に、心からお祝い申し上げます。

救急医療功労者の皆様には、高齢化が進展し、また、救急搬送件数が増加する中で、初期・二次・三次の救急医療を地域の実情に応じて提供いただいております。地域住民が緊急の時に必要な医療を迅速に受けることができる体制の構築に貢献をいただきました。また、啓発活動による救急医療に対する理解向上や、研修による救急医療関係者の資質の向上などにも御尽力いただきました。

産科医療功労者の皆様には、全国的に分娩を取り扱う医療機関や産科医が減少する中、地域において安心かつ安全な分娩が行えるよう、地域の産科医療を支えていただきました。また、昼夜を問わず、ハイリスク分娩の管理やハイリスク妊産婦などの周産期救急患者の受入れ、研修を通じた産科医療従事者の資質の向上などにも、御尽力いただきました。

更に、救急医療功労者及び産科医療功労者の皆様におかれましては、今般の新型コロナウイルス感染症の影響下におきましても、診療の最前線に立ち、日夜、地域医療を守るため御尽力されていると承知しております。

功労者の皆様が、長年にわたり、救急医療・産科医療の発展・向上に貢献してこられたこと、また、地域住民を守り、地域医療提供体制の整備に貢献しておられることに、心から敬意を表します。

厚生労働省においても、迅速かつ適切な救急医療と安全安心な分娩等が行えるよう、救急医療体制と周産期医療体制の充実に引き続き全力で取り組んでまいりますので、引き続き御指導と御助言をいただきますようお願いいたします。

なお、本来ならば表彰式において直接御挨拶を申し上げるべきところ、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今年度の表彰式の開催は見合わせることにいたしました。何卒、事情を御賢察の上、御理解賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の御功績に対して、重ねて厚く御礼申し上げますとともに、今後のますますの御多幸を心からお祈りいたします。

令和3年3月

厚生労働大臣

田村憲久